



リハビリテーション西播磨病院だより

発行・編集
兵庫県社会福祉事業団
リハビリテーションセンター西播磨病院
〒679-5165
兵庫県たつの市新宮町光都1丁目7番1号
TEL(0791)58-1050
FAX(0791)58-1071



着任のご挨拶

リハビリテーション西播磨病院 神経内科医長 高橋 龍一

高橋 龍一

このたび7月1日よりリハビリテーション西播磨病院に神経内科医長として着任しました。この絢爛たる病院にふさわしい充実したりハビリテーションを皆様に提供できますよう研鑽を重ねようと思っております。

私は平成15年に大学を卒業し、まず救急医療を学ぶために西神戸医療センターという中核病院で勤務しました。活気のある病院で、寝る間を惜しんで救急医療に励んでまいりました。2年間の研修ののち、神経内科に目標を定めその後4年間働いてきました。

関西地方では神経内科は精神科や、心療内科と混同されるようです。実は、主に脳梗塞、脳出血、パーキンソン病、認知症、神経難病などを診る純然たる内科医であることをご存知の方は少ないようです。兵庫でも神経内科医は数えるほどしかおりませんので、これを機会に皆様に神経内科を知っていただき、西播磨地域の脳疾患の治療に微力ながら貢献できるようがんばりたいと思います。

急性期医療では休日もなく、さら

に短い在院日数のこともありいつも何か目に見えないものに追い立てられ、十分ゆっくり患者様を診られませんでした。しかし、これから一旦歩を後ろにして、急性期医療を終えられ日常生活への復帰に一步一歩前進してゆかれる患者様とともに歩みたいと思っています。

当病院に着任して思うことは、勤務医の過酷な労働環境が叫ばれる今日の中、西播磨病院は医師を大事に扱っておられる数少ない病院だということです。ここでは患者様を診療すると同時に自分をゆっくり見つめ直すことができ、別の意味での修練をすることができます。最新の機器にかこまれ、巷で話題の『脳の中を見える機械』（機能的MRI）も撮影することができます。このような恵まれた環境で、脳への探求心を新たにし、少しでも医学に研究できればと胸を膨らませています。まだ三十路を迎えたばかりで、皆様のお叱りを受けることも多いと存じます。なにとぞご指導賜りますようよろしくお願いいたします。

魅力あふれる 病院をめざして

皆さんはどうにして、あ

るいは何を基準に自分が入院する病院を選択しますか？リハビリテーション病院の選択に際しては一般的に、①リハビリ専門医の存在、②回復期リハビリテーション病棟の有無、③病院機能評価結果の公開、④訓練の質・期間、⑤入院しやすさ、⑥自宅からの距離、などが基準になるといわれています。さて、当院の現状はいかがでしょうか…？

広大な自然に囲まれた当院は開設4年目を迎え、徐々に運営システムが効率化し、スタッフも充実・成長してきたことから、患者様へよりよいサービスが提供できる体制が整ってきたのではないかと感じています。当院は公的病院として、患者様の満足度の向上はもちろん、高度なリハビリテーション医療の提供と、地域の方々へ開かれた病院を目指して舵取りを行っています。土曜リハや看護師による病棟生活でのリハビリの実施、音楽療法や園芸療法の実施により、リハビリ訓練の質・量を確保するよう努めていますが、都市部でも回復期病棟が増えてきているため、「自宅に近い病院」といった点では不利な状況に置かれています。そこで患者様から選ばれる病院を目標として、昨年度から「魅力あふれる病院づくり検討会議」を開催しております。「どのような機能（専門性）が当院に求められているか」、「どうすれば患者様が入院したいと思える病院となるか」といった内容について、ベテランから若手スタッフまでが一緒になつて話し合いを行っています。

当院の評判として、「しっかりとリハビリが受けられる」、「病院とは思えないくらいきれいな建物」といった、よい噂が聞こえる一方で、「風邪をひいたのだけれど、リハビリ病院の外来でも診てくれるのか」、「リハビリを受けたいが、どのようにしたら受けられるのか」、「リハビリ訓練の質・量を確保する専門性向上、効果的なリハビリの実施方法の検討などについて話し合いが行われています。さて、皆さんはどのようないい声も聞こえていますが、このような声が聞かれるのは広報不足が一因と考えられます。当院の機能として、できることとできないことを明確にしながら、ただやみくもに広報を行っても混乱を招くと考えられます。「魅力あふれる病院づくり検討会議」では、当院に求められる機能は前述したような、民間病院では行えないような高度なりハビリテーション医療の提供、効果的な地域リハビリテーションシステムの考案と構築であると結論づけました。そこで今年度からこの会議を分化させ、「地域の高齢者や障害者」



「認知症」「神経難病」「脊髄損傷」の4つのワーキンググループとしました。現在、これら会議の中でそれぞれの疾患に対応した専門性向上、効果的なリハビリの実施方法の検討などについて話し合いが行われています。さて、皆さんはどのようないい声も聞こえていますが、このような声が聞かれるのは広報不足が一因と考えられます。当院の機能として、できることとできないことを明確にしながら、ただやみくもに広報を行っても混乱を招くと考えられます。「魅力あふれる病院づくり検討会議」では、当院に求められる機能は前述したような、民間病院では行えないような高度なりハビリテーション医療の提供、効果的な地域リハビリテーションシステムの考案と構築であると結論づけました。そこで今年度からこの会議を分化させ、「地域の高齢者や障害者」

今なお続く!!

新型インフルエンザ



○新型インフルエンザって
今春から流行した従来ブタやトリ同士で感染するインフルエンザがヒトに感染し、さらにそれがヒト同士でも感染するよう変異したものです。

○新型インフルエンザの症状は

現在流行している新型インフルエンザは、感染者のほとんどが、比較的軽症のまま数日で回復していますが、その一方、喘

息や糖尿病などの基礎疾患を持つ方や乳幼児、妊婦の方は感染すると重症化の危険性が高く、死亡されるケースも発生していますので注意が必要です。

○対策は?

予防のためにはこまめな手洗い、うがい等を徹底し、インフルエンザの症状がある場合は、

医療機関にあらかじめ電話連絡をして受診しましょう。特に、心臓・腎臓の病気や糖尿病の方は、日頃からかかりつけの医師と相談しましょう。

○治療薬は?

今のところ治療薬としては、新型インフルエンザにはタミフル・リレンザが有効とされていますが、タミフルは児童に一部、重大な副作用が報告されています。内服の際は、用量・用法を守って正しく内服して下さい。何かおかしいと思えば、医師に相談しましょう。

AED研修会 開催報告

平成21年7月24日・31日の両

日、西播磨病院医療安全管理委員会の主催の下、当センター職員を対象にAEDの使い方と注意点等に関する研修会が開催されました。

AEDは、日本語で

は自動体外式除細動器と言われ、心臓がけいれんし血液を流すポンプ機能を失った状態（心室細動）になつた心臓に対して、電気ショックを与える、正常なリズムに戻すための医療機器です。2004年7月より医療従事者ではない一般市民でも使用できるようになり、病院や診療所、救急車はもちろんのこと、空港、駅、スポーツクラブ、学校、公共施設等、人が多く集まる所を中心

当センターでも、AEDはりハビリ訓練室、東病棟、ふれあいスポーツ交流館に設置されています。

医療安全管理委員会では、今後も定期的にAEDの研修会を開催し、職員にAEDの使用方法等を周知させたいと考えています。



新人・転入スタッフ紹介



言語聴覚士

生嶋 美紅



理学療法士

上田 智重

この四月から当院で言語聴覚士として勤務しています。言語療法部では脳卒中後の言葉の問題や飲み込みの問題などへのリハビリーションを行なっています。日々、先輩方、そして患者様にいろいろなことを教えていただきながら頑張っています。患者様により良いリハビリーションを提供できるよう、これからも努力していきたいと思いますので宜しくお願いします。



看護師

黒田 真希

この春から、東病棟に配属され看護師として働いています。入職してはや四ヶ月が経ちますが、日々元気になられる患者様の姿・笑顔に励まされる毎日です。また、先輩スタッフの熱心なご指導のおかげで、楽しくやりがいを持ち働くことが出来ています。これからも初心を忘れず、ハングリー精神で頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

4月から西播磨リハビリテーションセンターに異動になり、早くも4ヶ月が経過しました。はじめは病院のシステムやバスの通勤に慣れず大変でしたが、今は少し気持ちにゆとりが出てきました。病院は緑に囲まれて毎日すがすがしい気持ちで日々の臨床に取り組んでいます。鹿がたくさん出没するとのことですが、まだ会つたことがないので出会えるのを楽しみにしています。今後もよろしくお願ひします。

私は、今年の4月に総合リハビリテーション中央病院から西播磨リハビリテーション病院に転入となりました。環境が変わり、看護師としての経験年数も浅いため、戸惑うこともありましたが、先輩方が声をかけてくれ、丁寧に様々なことを教えていただきました。転入という形ですが、また新たな気持ちで仕事を臨んでいきたいと思っています。今後もよろしくお願ひします。



看護師

堀田 綾美



医療ソーシャルワーカー

山森 和也

四月より当院の医療ソーシャルワーカーとしてお世話になっています。現在東病棟の担当をさせていただいています。入院中や退院後のことなど、生活されるうえでの様々なご相談に応じ、より良い解決方法をともに考えていきます。本当に些細なことでも構いません。何でもお気軽に声をかけて下さい。そしてその中から生活をより良く変化させるヒントが見つけられれば嬉しく思います。どうぞよろしくお願ひします。

「ふれあいリハフェスタin西播磨」開催のご案内！

開催日時

平成21年9月19日(土)
10:00～15:00

会場

西播磨総合リハビリテーションセンター
屋外広場ステージ、研修交流センター

内容

模擬店出店、コンサート出演
西播磨総合リハビリテーションセンターの
特色を生かした体験コーナー
(介護予防体操、健康相談、無料トレーニング、
ニュースポーツ、生花ライブ他)

楽しい催しがいっぱいです。
どうぞ皆様お気軽にご参加ください！